

2017.03

発行代表者：鎌田 龍児

編集代表者：深田 稔

印刷：奥野印刷

関西岩手県人会

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9F 岩手県大阪事務所内

【TEL&FAX】 06-6344-5969 【ホームページ】 <http://www.iwate-kansai.com/>

平成29(2017)年度総会・新春懇親会 とき：2017.1.29(日) ところ：スパートナ梅田 出席者：58名

達増拓也・岩手県知事の祝辞

岩手県商工労働観光部・菊池 哲 部長 代読



祝　　辞

平成29年1月29日

岩手県知事
達増 拓也

関西岩手県人会 平成29年度総会並びに新春懇親会の開催に当たり、お祝いを申し上げます。

御参会の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

先日、兵庫県の西宮神社で、新春の恒例行事「開門神事福男選び」が行われましたが、見事一番福に輝いたのは、東日本大震災津波を経験した本県出身の大学生でした。「災害のない年にするため、福をふりまきたい」と故郷への思いを語っていました。本県にとても誠に縁起がいい年の初めとなりました。

関西岩手県人会の皆様には、野球やラグビーの全国大会出場校へ激励をいただいているほか、ふるさと岩手の発展のため、日頃から多方面にわたり御尽力をいただいており、特に、東日本大震災津波からの復旧・復興に対して、今なお数多くのお力添えを賜り深く感謝申し上げます。加えて、昨年の台風10号災害の際にも、早々に義援金をお寄せいただきまして、重ねて感謝申し上げます。台風第10号災害では、本県は極めて甚大な被害を受けましたが、大震災津波と併せ、現在も復旧・復興に全力で取り組んでいますので、引き続

き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

御案内のとおり、昨年は、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会が開催されました。東日本大震災津波からの復興に全力で取り組む中、また、台風第10号災害による被害の爪跡が深く残る中開催した国体・大会でしたが、岩手のスポーツの力の高まりや伝統芸能、障がい者アートをはじめとしたすばらしい文化、実直な県民性やおもてなしの心などの様々な岩手の良さが示され、本県を訪れた全国の方々からは高い評価をいたいたものと考えています。

全国の皆様に復興支援への感謝を伝えるという所期の目的を達成し、岩手県民が自信や誇り、そして希望を持つことにつながった大会となりましたことは、皆様の多大なる御支援、御協力によるものであり、この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

そして、昨年7月には、ドージマ地下センターに、青森・岩手の関西圏でのアンテナショップ「ええもんショップ」をオープンすることができました。「ええもんショップ」を拠点として、両県の県産品や観光などの旬の情報を関西の皆様に発信していくとともに、多くの方々に愛されるショップになるよう、皆様の御意見をいただきながら、両県で力を合わせて取り組んで参りますので、今後も御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が、関西岩手県人会の皆様にとってすばらしい年となりますよう祈念し、お祝いの言葉といたします。

＊<新春懇親会：12時より～特別メニュー・新ブランド米のおにぎり登場～>

に全員起立て黙祷を捧げた。

◎ご来賓：前掲の菊池 哲（あきら）部長、同・企画室・佐藤益子主任主査、岩手県大阪事務所・福田晃所長、同・古澤聖子主事、京都岩手県人会・佐藤

耕吉副会長。

◎新会員紹介：植田細布子氏（八幡平市）

◎挨拶：鎌田龍児会長（要旨）総会で「もう一期」やれと指名された。力不足だが精一杯やる。盛岡大学附属高校の他、不來方高校がたった10人の部員ながら、21世紀枠で選抜野球大会に出場するので熱い応援をお願いする。東日本大震災関連で毎年行っていた街頭募金を、一区切りついたということで終了する。しかしまだ復興途上にあり、募金活動は続ける。

◎祝辞：前掲・菊池部長。岩手県出身の皆さんがあ一致団結した、こういう会があることを昨年知り、今年も是非来たいと思い昨年に続き参りました。岩手県知事からの祝辞を預かってきましたので読み上げます。

◎乾杯：京都岩手県人会の会長代理で、佐藤耕吉副会長にご発声をお願い。

◎会食・懇談：昨年デビューした新ブランド米「銀河のしづく」と「100%天然・野田塩」で作った「おにぎり」を、特別に作ってもらった。お米は岩手県農林水産部から精米仕立てを、塩は岩手県大阪事務所の寄贈。評判通り「冷めてもおいしかった」。昨年産米の



カラオケ・会場一体となって「ふるさと」を熱唱

「銀河のしづく」は流通量が少なく、関西では阪急百貨店うめだ本店と難波の高島屋大阪店でのみ販売。

◎余興：最初に会員の尾張秀男氏（北上市）から、高槻市立の「今城塚古代歴史館」と「しろあと歴史館」および自らのボランティア活動のPRがあった。次いで「どんぐりコールミュージカルスクール」を主宰する堯律子常任幹事の計らいで、専属ピアニスト金丸精志（きよし）氏の華麗なピアノ演奏があり、しばし耳を傾けた。カラオケでは6名の方が自慢の喉を披露した。最後に金丸ピアニストの伴奏で舞台および客席とが一体となって「ふるさと」を合唱して終わった。

◎福引：恒例の福引は役員カンバが源資の商品券（3千円10本、2千円14本、1千円14本）と鎌田会長のご友人が丹精込めて作られたお米「ひとめぼれ1kg」20本の空くじなしで、しばしば歓声が上がった。

◎中締め・おみやげ：熊谷克己常任幹事が中締めを担当、司会の中野由貴氏が閉会を宣言し、全員が岩手県産株から取り寄せた「岩手の銘菓」をおみやげに散会した。



「銀河のしづくと野田塩」のおにぎり



菊池 哲部長他のご来賓を迎えて

<総会:11時15分より～新役員による新たな船出～>

・藤井勝副会長の司会で鎌田龍児会長を議長に選出、深田稔事務局長の議案説明で始まった。

◎第1号議案：平成28年度事業報告、収支決算および監査報告

特筆される行事：第5周年街頭募金（関西宮城県人会と共同）、大阪御堂筋本町ロータリークラブと共に催で

の防災シンポジウム（3月13日、大阪国際会議場）、三春滝桜観光および三陸沿岸視察旅行（県人会報31号）など。「語り継ぐ津波の魯威～東日本大震災から学ぶもの」と題したシンポジウムは、チャリティコンサートの人気も手伝って約1000人の聴衆を集め大成功であった。

決算報告：「一般会計」では、東日本大震災に対する返礼の意味で、熊本地震に5万円のお見舞いをした。「いわての学び希望基金」では、街頭募金や防災シンポジウムの他、金野衛氏ご一家、松本泰州氏、鈴木綾子氏、故濱本昌範氏の奥様など個人からの募金も多く、震災発生年に次ぐ金額（約82万円）であった。

「台風10号大雨等災害義援金」では、「いわての学び希望基金」から10万円を「岩手県共同募金会」に送金する一方、新たに義援金を募り、79名から42万円の義援金が寄せられ、昨年のうちに岩泉町、宮古市、久慈市に送金。

監査報告：中村圭史氏により問題なしと報告、拍手で承認された。

◎第2号議案：役員改選(平成29年、30年)

役員選考に先立ち役員会内規を改訂した。昨今、定年延長や定年後も元気に働く人が増え人材難である一方、元気なお年寄りが増えている。役員推薦年齢を4歳引き上げ、満76歳→原則80歳未満、満期を78歳→原則82歳へ、顧問の委嘱満期85歳到達時→委嘱は満83歳以上・終身とした。これを基にした新役員名簿が提案され承認された（別表）

◎第3号議案：平成29年度(2017)事業計画

および収支予算

事業計画：平野良夫・新事務局長より説明された。今年度は東日本大震災（2011年3月）以来の街頭募金、震災関連特別行事をひとまず終了し通常業務に戻ること、したがって、3月初旬の街頭募金は行わない。但し募金活動は継続する。事業計画の中で日程を示しているのは開催日が決定しているので、予定表に書き入れるよう参加を呼びかけた。

収支予算：昨年より厳しくなるが、節約に努める、として承認された。

「会場の募金箱に¥17,662の義援金が寄せられました。ありがとうございます（事務局）」

＜新役員名簿 一覧＞

会長(1)：

鎌田龍児（北上市、S12年）

副会長(4)：

藤井勝（花巻市、S17年）、金野衛（一関市、S14年）

菊池満昭（花巻市、S18年）、平野良夫（花巻市、S22年）

常任幹事(8)：

堀律子（陸前高田市、S11年）、鈴木綾子（大船渡市、S19年）

菊池敏博（花巻市、S18年）、奥村昭吾（久慈市、S29年）

高橋弘美（花巻市、S28年）、千葉たみ子（奥州市、S26年）

熊谷克己（一関市、S14年）、深田稔（一戸町、S16年）

幹事(6)：

多賀谷真吾（西宮市、S45年）、長山幸悦（二戸市、S22年）

中村滋（盛岡市、S24年）、菊池茂昭（一関市、S28年）

中西文枝（花巻市、S34年）、平田和枝（奥州市、S40年）

（下線：新役員）

事務局長(1)、事務局員(1)：

平野良夫（兼務）、事務局員：深田稔（兼務）

監事(2)：

和賀亮太郎（一関市、S18年）

中村圭史（岩手県産業大阪営業所長）

職域幹事(6)：

福田晃（岩手県大阪事務所長）

馬場英幸（株岩手日報社大阪支社長）

佐々木雄平（株IBC岩手放送大阪支社長）

小原文幸（株テレビ岩手大阪支社長）

波岡功（株岩手朝日テレビ大阪支社長）

森小百合（株岩手めんこいテレビ大阪支社長）

顧問(2)：

柏山喬（奥州市、S6年）、松坂定徳（陸前高田市、S7年）

第23回アテルイ・モレの碑法要

昨年晚秋 新会長の下に新たな気持ちで

とき：2016年11月12日（土）

ところ：京都・清水寺

懇親会：全105名

781年桓武天皇は即位と同時に長岡京の造営とまつろわぬ民・蝦夷征討を国是とし、789年紀古佐美を征東大使として5万の兵を胆沢・江刺（今の奥州市）に送りますが、蝦夷は数千の住民で防戦し朝廷軍を打ち負かします。しかし、802年坂上田村麻呂を征夷大将軍とする征討第3波の朝廷軍10万の前に、蝦夷の頭領アテルイとモレは5百人の兵と共に投降し、その後アテルイとモレは河内国杜山にて斬首されました。これらの史実は日本国史である続日本紀や日本紀略に記載され、現代まで語り継がれています。

「北天の雄アテルイ・モレの碑」は陸奥の勇者アテ

ルイとモレの慰靈と顕彰のため、平成6年11月に故高橋敏男氏ら岩手県水沢出身の有志により、坂上田村麻呂公寄進の清水寺南苑に建立され、先人の想いを継いだ当会が第23回目の法要を営みました。この日役員は「阿彌流為・母禮」の印半纏を着用し、皆様をお出迎えしました。

法要には磐文化研究所理事長・萬壽寺住職佐々木道一老師様、衆議院議員穀田恵二様、奥州市長小沢昌記様他多数のご来賓と関西会員（50名）、奥州会員（12名）、田村歴史観光協議会（35名）、伝阿彌流為母禮之塚保存会（4名）の関係者がご列席、秋空の晴天の下、碑前に

て清水寺森清範貴主様以下全山僧侶による法要が厳かに営まれました。その後、円通殿で行われた森清範貴主様によるご法話では、碑の建立に貢献された清水寺勸学局長福岡精道師のお人柄が紹介されました。

引き続き、アテルイを顕彰する会の及川洵会長から「アテルイをめぐる二、三の問題」と題した講演を頂戴しました。89歳という高齢にもかかわらず、この日の為に16ページの資料250部を持参してのお話でしたが、皆さん的心にはどのように届いたでしょうか。

その後、和賀亮太郎第5代会長より「会長職を松坂定徳氏から引き継ぎ、気持ちを新たに、一意専心役目を果たしてまいりたい」と挨拶がありました。

懇親会には前記の他清水寺様4名が加わり100余名の参加でした。懇親会初参加者が15名ほどおられましたので、この方々のご紹介も致しました。ご祝辞を頂戴した方々は話達者の方ばかりで会場は爆笑の渦となり、和やかな雰囲気の内に散会致しました。しかし、体調を崩し欠席という方も數名おられ、若い初参加の方が

ある一方で高齢化が進んでいる現状もありますので、どうぞ皆様ご自愛の上、来年もまた元気で法要にお越し下さい。役員の方々にはご協力・ご支援を頂き、誠にありがとうございました。



第4代会長・松坂定徳氏(左) 第5代会長・和賀亮太郎氏(右)

晩秋の一日をイタリアレストランで ～平成28年度・桐の会の集い～

2016年11月19日（土）11:30～
リストランテ・ベリーニ芦屋
参加者：16名（女性9名）

一昨年から桐の会の通信事務を県人会事務局が担当、アンケートで連絡希望とあった方と新会員に絞り、一昨年の約半数の方に案内した。当日は雨が心配されたが曇り空のままで幸いであった。

総会は昨年整備された桐の会々則と役員名簿に基づ



台風10号被災地に義援金42万円

岩泉町、宮古市、久慈市より礼状届く

10月6日付で会員の皆さんに一口￥500の義援金のお願いをした。急なお願いにも関わらず79名の方から42万円の温かい義援金が寄せられた。

岩手県大阪事務所からの情報を基に配分し、別表のように昨年のうちに送付した。人的被害および住宅倒

き、まず堯律子会長の挨拶、次いで事務局（県人会事務局代行）による行事決算報告と竹田修子監事による監査報告があった。また、次回の日程について、仕事を持っている方が出席しやすいように日曜日「2017年

11月19日（日）」が提案され承認された。更に、最近一泊旅行がないので、2月に北陸方面のカニ味覚旅行も提案されたが、有志による企画となつた。

懇親会では、大森清子さんが年齢92歳と聞いて男性陣もびっくり、ゴルフ三昧の85歳柏山喬氏が「変形性膝関節症」を入院20日で克服したという病院の紹介、今年になってご主人や親戚を亡くされたという近況報告、初めて参加した方の自己紹介等、大いに懇親を深めた。

今回、所用などで出席を見合わされた方、次回は是非参加いただきたくお願い致します。

帰りに昨年と同様、堯会長から全員に手土産が配られた。いつものご配慮に感謝したい（事務局F）。

昨年 12月9日	岩泉町へ	¥ 220, 000
同 12月8日	宮古市へ	¥ 100, 000
同 12月8日	久慈市へ	¥ 100, 000

壊滅でも圧倒的に被害が大きかった岩泉町に多く配分した。三市町から鎌田会長宛にご丁寧な礼状が届いている。

募金にご賛同いただいた方は以下の通りで、ありがとうございます（別表、敬称略）。

<募金者ご芳名>

60口：金野 衛
40口：村上忠夫
30口：小原 重
20口：鈴木綾子、佐藤俊三、森口隆次、村山武雄・ミツエ、長田 秀子、善國高豊、多賀谷真吾、平野良夫
奥村昭吾、深田 稔、鎌田龍児、藤井 勝、堯 律子
立花正一
10口：和賀亮太郎、外館友治、千葉 本、中村 滋
萩川せい子、菊池昌平、高橋清紀、新田陸夫、後藤ツヤ・統一、刀根 誠、岡 豊、小田島晴夫、菊池満昭
長山幸悦、岡田公子、佐藤勇作、菊池 巧、加藤文雄
柏山 喬、藤原照雄、溝井まさ、田中行男、則武頼子
小原政雄、阿蘇 剛、森小百合、伊藤寿彦
6口：松浦勝美、千葉たみ子、吉田正夫、菅原文雄
高橋弘美、深江友樹、阿部文夫、菊池敏博、河原久美子
熊谷克己、斎藤 曜、尾張秀男、浅沼正子、鳥居隆尚
嵯峨憲治、池上禮子、久慈久美子、八幡勝栄
4～1口：井上悠美子、菊池茂昭、小野寺正芳
植田細布子、山田英子、奥玉栄三、竹田修子、水上佳子
中西文枝、小山綾子、藤原 勉、佐々木哲夫、中野由貴
高木 浩、小山文男、高橋昭二、山下たえ

岩泉町長・宮古市長・久慈市長より

丁重なお礼状

平成28年12月吉日 岩泉町長 伊達 勝身

貴下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、去る8月30日に上陸した台風第10号による大雨災害に依り、当町全域が被害を受け、尊い町民の生命と財産が奪われました。

このような状況の中、ご厚情あふれるお見舞いと励ましをいただき心より感謝申し上げます。そのうえ多大なる義援金まで頂戴し、職員一同感謝の言葉もございません。

お寄せいただいた義援金は、町を通じて被災された方々にお届けすることとなります。

皆様から頂きました温かいお気持ちが、被災された方々への大きな励ましとなるものと確信しております。

被災地の一日も早い復旧・復興を願い、町民一丸となって頑張っていく所存であります。皆様には今後も変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い致します。

最後となりますが、この度お寄せいただいた皆様のご厚情に対し、略儀ながら書中をもってお礼申しあげますと共に、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

第96回 全国高校ラグビー大会

黒沢尻工 初戦で散る

宿泊先(ホテルコスモスクエア)で激励会(県事務所・岩手日報社共催)を行った(12・7)翌日の花園ラグビー場、黒工(2年連続28度目)はFWの粘りはあったものの佐賀工(35年連続45度目)のバックスに防御網を破られ、12-64(前半7-28)で敗れた。黒工OBや北上出身者を交えた県人会の応援もあり、2トライ返したがフィジカル面での劣勢は拭い切れず、昨年同様の初戦敗退となつた。勝ち上がつたチームも次の対戦相手に次々と敗れた(常翔・神奈川桐蔭・東海大仰星)状況下では、全国優勝2回・準優勝3回の県勢とはいえ、シード校との差は歴然で、乗越える壁の高さ、道のりの遠さを感じた。

[事務局]



「赤ベコ」の旗の下、応援に駆けつけた皆さん

平成29年1月11日 宮古市長 山本 正徳

新春の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびの台風10号豪雨災害に際し、多大なる義援金をお寄せいただき、宮古市民を代表致しまして深く感謝申し上げます。

昨年8月30日に岩手県沿岸に上陸した台風10号は、東日本大震災の復興途上にある宮古市にも、甚大な被害をもたらしました。市内各地で道路の崩壊や河川の氾濫が相次ぎ、交通やライフラインの寸断が起こった他、家屋の全壊77棟、大規模半壊251棟、半壊(床上浸水)1,324棟に上っており、被害推計額は213億円を超える状況にあります。

お寄せいただいた義援金は、お住まいが全壊および大規模半壊、半壊となった世帯へ配分しております。

皆様からの温かいお気持ちが、被災された方々への大きな励ましとなるものと確信しております。

度重なる災害に見舞われながらも、引き続き市民一丸となって更なる復興への道筋を歩んでいく所存でありますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成29年1月吉日 久慈市長 遠藤 譲一

ご支援、ありがとうございました。この度の「平成28年久慈市台風災害義援金」にご協力いただき、深く感謝申し上げます。平成28年8月30日に上陸した台風10号により、岩手県は記録的な豪雨に見舞われ、当市におきましても、甚大な被害を受けたところであります。

会員消息

新春懇親会返信ハガキより抜粋(挨拶文は省略)

皆さんの声としてご紹介します(敬称略)

・鳴海賢三(宮古市)

もう、ここ10年ほど、盛岡の叔母の老人ホームの見舞いと、宮古の墓参りに行ってます。10月5日ごろは台風であわてて帰阪しました。アテルイ・モレや賢治の会も参加したいと思っていますが出来ませんでした。1月29日(日)は研究会で岡山に行っているため、また糖尿病でアルコールが飲めません。またの機会に皆さんとお会いしたいと思います。

・佐藤義吉(一関市)

今年は82歳となります。ふるさと岩手を思い出しながら野菜づくり・農作業を日々楽しんでおります。

「まほろば奈良」は楽しいです。

・宮原みゆき(北上市)

今冬も北上市里分の高齢の両親宅に、お正月や雪かき等の手伝いに行って参ります。父が県人会報を楽しみしております。

・尾張秀男(北上市)

高柳市立の今城塚古代歴史館、しろあと歴史館でボランティアガイドをしています。懇親会で宣伝させてください。

・金野 衛(一関市)

龍谷大学で、池上 彰氏と東洋大学々長の対談・講演会に申し込んでいたが、新春懇親会を優先し新年会を楽しみたいと思います。

・菊地 巧(奥州市)

黒工のラグビーは残念でした。今年も北東会ゴルフに参加できますよう、よろしくお願ひします。

・浅沼正子(釜石市)

いつもお世話になっています。友人たちと一緒に席だと楽しいのですが・・・。釜石出身の方は少ないようですね。

・岡 豊(釜石市)

新春懇親会を楽しみにしていたのですが、田舎に帰る用事ができましたので欠席させていただきます。

・後藤善郎(花巻市)

返信遅くなり申し訳ございません。小生元気で過ごしております。盛会をご祈念いたします。

・和田 浩(盛岡市)

昨年末、肺炎入院。本年も初の風邪、抵抗力が落ち

お寄せいただきました義援金につきましては、被災された皆様にお届けいたしまして、生活再建のための一助として参ります。

皆様のお気持ちが、被災された方々への力強いエールとなり、温かい励ましとなると確信しております。

誠に、書面にて失礼とは存じますが、心から感謝申し上げ御礼のご挨拶といたします。

ている。県人会の更なるご発展を祈念申し上げます。

・金本栄子(大船渡市)

先約があり、時間を調整しようとしたのですがそれでも間に合いません。皆様にお会いしたかったのですがとても残念です。ご盛会となりますよう祈念致します。

・吉田正夫(陸前高田市)

昨年の花見は楽しかったですが、今回都合により欠席させていただきます。

・境 傳(一関市)

残念ですが、当日は民謡発表会がありますので参加できません。盛会をお祈りします。

・立花則子(住田町)

今回、娘の引っ越しがありまして出席できません。どうか皆様に宜しくお伝えください。

・島 信子(一関市)

当日予定が入ってまして、残念ですが欠席させていただきます。

・小瀬川操一(花巻市)

老人ホームに入所し静かな毎日を過ごしています。

・植田細布子(八幡平市)

初めての出席です。よろしくお願いします。

・小野寺正芳(一関市)

足腰弱くなり、気力のみ元気。但し、アルコールフリーのみとなった。

・その他の消息

*腰痛に悩んでいます・・・小原 重(北上市)

佐藤俊三(一関市)

*体調不良・・・山田英子(八幡平市)、新田陸夫(花巻市)、松浦勝美(金ヶ崎町)

(腰痛、体調不良の皆さんの一 日も早いご快復を心からお祈りいたします。事務局)

「編集後記」

No25号から32号まで、3年間にわたる編集代表者の入江陽子さんが、お仕事の関係で辞退された。前任者のスマートな紙面とは較べるべくもなく、技術の未熟さが目立つ。「文字を大きく」との要望があつたのは知っているが、できるだけニュースを盛り込みたくて見づらくなつた。ご叱正を乞う。(深田)